

令和5年度大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科薬科大学 内科学Ⅳ 専門教授／書記 武内 徹

日 時： 令和5年6月20日(火) 18:00～18:45
場 所： 大阪医科薬科大学 学Ⅰ講堂(講義実習棟2階)
出 席： 佐野顧問、 森協会長、 中野副会長、 萩森副会長、 浮村理事、
平松評議員、 金沢評議員、 新田評議員、 松村評議員、 奥評議員
龍谷会計、 武内書記、 喜田会員、 森会員(敬称略)

議長に中野副会長が選出され、議事が進められた。

議長が、出席14、委任状253、計267、総会の定足数である会員数502の過半数252を超えているので、総会が成立することを宣言し、開会した。

<会長からの挨拶>

平素は医師会活動にご協力を賜りありがとうございます。新型コロナウイルスが5類に移行し感染者はやや増加していますが、本総会は現地開催することとしました。昨年6月25日に行われた日本医師会代議員会で松本会長が就任されて、日本医師会の組織力強化を掲げており、1名でも多くの医師の入会が必要です。若手医師への一層の勧誘活動にご協力いただきますようお願いいたします。

1. 令和4年度事業報告ならびに令和5年度事業計画(森協会長)

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数は489名(令和4年6月16日現在)から502名(令和5年6月19日現在)と13名増加した。うち、臨床研修医が7名から30名に増加したが、加入率は27%とまだ低い。大阪公立大学は100%、関西医科大学は100%、近畿大学は74%であり、加入促進が必須である。

昨年度および今年度の研修医入職時オリエンテーションにおいて医師賠償責任保険や医師会の活動について説明を行い、大阪府医師会が作成した医師会紹介 DVD を視聴して勧誘を行った。その成果があり、例年より多くの研修医が加入した。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーは、昨年度も今年度も開催中止になった。2年目研修医を対象とした大阪府医師会勤務医部会主催ウェルカムパーティーは、昨年度は開催中止になったが、今年度は11月5日に予定されている。第3学年を対象にした特別講義は、今まで茂松前大阪府医師会会長にお願いしていたが、今年度は高井新大阪府医師会会長にお願いして、5月22日に実施した。

松本日本医師会会長が組織力強化のため、今年度から医学部卒業後5年間の会費無料化に取り組み、医賠償保険有の場合、31歳以上で28,000円が減免され40,000円に、30歳以下で24,000円が減免され15,000円になった。入会しやすい会費となったので、加入勧誘に協力いただくよう会員に依頼する。新研修医の入会促進のために、入職前にもプロモーションを行う予定である。

当医師会の役員は資料の通りで、評議員は西川先生(内科学Ⅱ)、武内先生(内科学Ⅳ)、高須先生(救急医学)に依頼し承諾を得た。新田先生(医療安全推進室)にも評議員を継続して頂くことを依頼し承諾を得た。書記は武内先生に、編集委員は岩本先生に依頼し承諾を得た。

当医師会のホームページの更新も定期的に行っている。役員構成や総会議事録、学会等助成に

ついでの情報や、会報を掲載している。医師資格証は電子処方箋の署名ができるが、その保有率は本学ではまだ少ない。電子処方箋の取り扱いについて厚生労働省の動向が不確定であるが、医師資格証不携帯時やカードリーダーがない場合に備えて、クラウドで利用できる HPKI セカンド電子証明書の準備が進められており、電子処方箋に関して順次情報を提供していく。日本医師会生涯研修制度は、引き続き単位取得をお願いした。

当医師会における大阪府医師会の会員区分を正しく運営するために、一昨年、C 区分は研修医とレジデント及び臨床していない医師、B区分はC区分以外の会員と定義した。正しい会員区分で加入いただくよう、会員に変更依頼し、少しずつ是正されている。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学会報を毎年2号発行している。第58号(昨年9月15日発行)では座談会「アレルギーセンター」を、第59号(3月15日発行)では「ここがすごい!我が診療科」を特集した。第60号(9月15日発行予定)では座談会「消化器内科が取り組むコラボレーション」(仮題)を特集し、好評だった「ここがすごい!我が診療科」をコーナー化し、毎号掲載する予定である。

学会等助成は、規程で5件まで各10万円助成している。令和4年度は、形成外科学上田教授と整形外科根尾教授の2学会を助成した。令和5年度分は、4件の応募があり、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学萩森専門教授と小児科学芦田教授と看護学部安田教授と皮膚科学森脇教授の4学会に計40万円を助成することを11月7日に決定した。来年度の公募を10月より開始する予定である。

北摂四医師会医学会は、高槻市、茨木市、摂津市、当医師会及び大阪府医師会勤務医部会第2ブロックで構成している。その総会は、昨年度は茨木市医師会の当番で、6月11日から6月19日までオンデマンド WEB 開催し、北摂四医師会医学会会員のみの限定公開とした。特別講演は神経精神医学金沢教授の講演動画配信し、一般演題は12題のスライドPDFを配信した。「優秀演題賞」はプレゼンがなく審査できないため、発表した一般演題全てに「コロナ禍奨励金」として各1万円(税引後)を贈呈した。今年度は高槻市医師会の当番で、6月10日に、オンラインではなく学1講堂で現地開催した。46名の先生が参加し、特別講演は皮膚科学福永准教授に依頼した。一般演題では10題の発表があり、優秀演題賞を2題選考している。

北摂四医師会医学会の分科会は、活動を継続している5つの分科会が要件を満たしているか調査した。要件は、①幹事が4つの医師会から選出されていること、②規程があること、③年1回研究会等を開催していること、④参加費を徴収して運営していることで、要件を満たす分科会は4つあり、ホームページに詳細を掲載していく予定である。

当医師会は大阪府医師会勤務医部会の第2ブロックに所属している。昨年度はブロック委員会を5回開催し、第2ブロック研修会を4年ぶりに1月14日に開催し、内科学Ⅲ浮村専門教授が講演された。今年度も例年通り、ブロック委員会を4回、ブロック研修会を1月13日(土)午後に予定している。演者および演題は未定である。

勤務医部会研修会が、2月14日に「新専門医制度」をテーマに開催された。今年度は9月26日と2月13日に2回開催される予定である。今年度は勤務医部会設立50周年にあたるので、例年にはなかった記念式典と記念講演が予定されている。7月22日に帝国ホテル大阪で、「勤務医に対する日本医師会の取組」をテーマに松本日本医師会会長が講演される予定である。

大阪府医師会勤務医部会常任委員会は、原則第2及び第4火曜日の17:00～、年間22回開催されている。第1～4ブロック合同懇談会が、2月2日に「人工知能」をテーマに開催された。今年度も

例年通り開催される予定である。第1～2ブロック女性医師支援WGは4月13日に開催された。

大阪府医師会役員と勤務医部会役員の懇談会が、昨年9月1日に、「最近の医療における諸問題－組織力強化、かかりつけ医機能、医師の働き方改革を中心に－」をテーマに開催され、茂松日本医師会副会長が講演された。今年度は9月7日に大阪府医師会館で予定している。

在阪5大学医師会役員ならびに2行政医師会役員との懇談会は、昨年11月24日に「新専門医制度－若手医師にとって魅力ある制度を目指して－」をテーマに開催され、森脇会長が発表された。今年度は11月30日にリーガロイヤルホテル大阪で開催予定である。

在阪5大学医学生と語る会が、1月13日に Web 開催され、4学年生が4名参加した。今年度も開催されるが、日程は未定である。

3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

森脇会長が引き続き、日本医師会代議員に就任した。日本医師会代議員会は、昨年6月25日に第151回が開催され、松本新執行部が発足し、茂松前大阪府医師会会長が副会長に就任した。翌26日には、新体制のもと第152回代議員会が行われ、本年3月26日に第153回が開催された。今年度は、6月25日に第154回が、3月31日に第155回が開催される予定である。

大阪府医師会代議員会は、昨年5月26日に第321回が開催され、大阪府医師会会長に茂松先生が再選された。茂松先生が6月25日に日本医師会副会長に就任されたため、8月25日に第323回が開催され、高井先生が新大阪府医師会会長に就任された。今年度は、第325回(6月22日)、第326回(3月の木曜日)が開催される。大阪府医師会代議員は、昨年度から変更なし。予備代議員は石田評議員の後任に中平評議員が就任する。

大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは資料の通りで、今年度も多くの先生にご尽力を頂くよう依頼した。

大阪府医師会郡市区等医師会長協議会が毎月原則第4金曜日14時から開催されている。森脇会長は、当日配布資料と議事録を毎回確認している。郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会が、昨年7月25日に開催された。今年度は7月24日に開催される予定である。

大阪府医師会学術講演会において当医師会員が座長や講師を務めた会は以下の通りである。感染症シリーズ(10月20日開催)では、中野府医医学会運営委員が司会を務め津田評議員が講師を務めた。循環器シリーズ(昨年4月21日・10月20日開催)では、星賀府医医学会運営委員が司会を務めた。消化器シリーズ(昨年5月19日開催)では、福西会員が講師を務めた。今年度は、循環器シリーズ(4月20日開催)で星賀府医医学会運営委員が司会を務めた。

大阪府医師会の各種研修会において当医師会員の活動は以下の通りである。小児救急医療研修会(昨年10月27日・12月15日開催)では新田評議員が、医療安全推進指導者講習会(1月21日開催)では中野副会長が、産業医基礎研修会(昨年10月8日開催)では河野元会長が、学校保健講習会(昨年12月14日開催)では新田評議員が、全国学校保健・学校医大会(昨年11月12日開催)では星賀会員が、労災医療研修会(3月29日開催)では浮村理事が講師を務めた。

大阪府医師会会員名簿は、隔年で発刊される。昨年度調査を行い、11月に発刊された。今年度は調査がない。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が、昨年10月15日に「医療新時代を切り開く勤務医の矜持～コロナを克えて～」をテーマに名古屋で開催された。今年度は10月7日に青森で開催される予定である。

日本医師会女性医師支援センター事業「医学生、研修生等をサポートするための会」は、昨年12月1日に「女性医師がいきいきと働くために」をテーマに、近畿大学が当番で開催された。今年度は、当医師会が当番で、2024年1月11日(木)18:00～、PIOIで開催する予定である。当日、多数参加をお願いする。

大阪医科薬科大学病院連携病院長会総会は昨年11月17日に大阪新阪急ホテルで、三島医療圏がん診療ネットワーク協議会は1月27日にWebで開催された。

高槻市医師会勤務医部会が、1月16日に「コロナ禍の3年を振り返る」をテーマに開催された。今年度も例年通り開催予定である。

大阪府医師協同組合の冊子「医師協 Times」11月号に、当医師会の紹介が掲載された。

大阪府医師会郡市区等医師会職員連合会は、昨年度は書面審議で行われたが、今年度は5月25日に開催された。

〔審議結果〕 全会一致で承認された。

3. 令和4年度会計報告・会計監査報告(瀧谷会計)

瀧谷会計より、項目ごとの金額が報告され、概ね予算通りに執行された。

上杉監事及び麻田監事は、会計報告が適正であることを確認した。

〔質疑応答〕

Q 寄付金が30万円支出されているが、詳細を教えてください。(佐野顧問)

A ウクライナ支援金に10万円、茂松茂人先生選挙対策協力金に10万円、トルコ・シリア地震支援金に10万円で、計30万円です。

〔審議結果〕 全会一致で承認された。

4. 令和5年度予算案(瀧谷会計)

瀧谷会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示があった。日本医師会が卒後5年目まで減免されたので、郡市区等医師会交付金が若干減少する。大阪府医師会B会員の増加に伴い医学奨励交付金が増加した。毎年150万円程度の赤字だが、今年度の赤字額は100万円程度となる見込みである。

〔審議結果〕 全会一致で承認された。

5. 令和5年度学会等助成贈呈式

令和5年度学会等助成に採択された4学会に、目録が贈呈された。

以上